

労働者・住民が団結すれば、 社会は変えることができます！



「国鉄闘争全国運動・相模原」が、 105名の参加で結成されました！

2月19日おださがプラザ（小田急相模原）で、国鉄闘争全国運動・相模原が結成され、新しい運動が出発しました。（集会の内容はチラシ裏を見てください）

「国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動」（略称：国鉄闘争全国運動）は、解雇撤回・雇用破壊と闘う大運動です。

国鉄闘争全国運動は青年労働者と女性労働者の2人に1人が非正規職となった社会を、労働者が団結をつくって根本的に変える大運動です。戦争を止める力もここにあります。

結成集会では、国鉄闘争全国運動・神奈川の呼びかけ人でもあり、相模原市議会議員の西村あやかさんが特別アピール、4月選挙への決意を表明しました（発言は別掲）。

菅民主党政権はガタタタです。労働者・住民が団結して決起すれば世の中は確実に変わります。チュニジア、エジプトを見てください。

基地の街・相模原でも歴史を変える闘いを、労働者・住民の団結でやろうではありませんか。

国鉄闘争の火を消すな！ 解雇撤回！
国鉄闘争全国運動・神奈川

横浜市中区長者町8-136米屋ビル303
電話 045-242-1055
e-mail : c_kanagawa@yahoo.co.jp

特別アピール

西村あやか（国鉄闘争全国運動・神奈川
呼びかけ人／相模原市議会議員）

「なぜ立候補を引き受けたのか。そしてなぜ全国運動にかけるのか」

「民主党・菅政権が裏切り、あらゆる勢力が危機を深める中で、例えば裁判員制度でも議会の中では反対は私ひとり。しかしそこに存在意義があり、労働者が労働組合をよみがえらせる闘いと一体で進むことに勝利の道がある。」

「私たちがこの地域で労働組合をよみがえらせる。動労千葉、国労闘争団の当該と共に闘うことの大きさをはっきりさせよう。相模原もチュニジア、エジプトと一つであり、労働者を信頼して闘っていきたい」

相模原の政令指定都市について「画然とした攻撃であり、膨大な借金を市に押しつける一方、民営化によって労働者をどんどん減らし、非正規にするもの。国のかたちを変え、侵略戦争の中で生き延びようとするものであり、反戦議員をたたきつぶす攻撃だ」ときっぱり断罪した。そして最後に、「職場や地域で労働者市民の怒りはあふれだしている。これに対し、動労千葉やエジプトのように闘おうと言い切れば、必ず選挙戦は勝てる」



解雇撤回・非正規職撤廃!

政令指定都市化で“資本丸儲け、借金は住民に押し付け”、民営化絶対反対で闘おう!

「2・19 国鉄闘争全国運動・相模原結成集会での発言から」

司会の神奈川労組交流センター湘北ブロックの労働者の開会あいさつに続いて、自治体労働者が基調報告を行い、「世界革命が現実となる時代が来た。エジプト革命の原動力は、体制内指導部を打ち破って闘う労働組合とストライキだ。職場・地域で『動労千葉を支援する会』を組織し、三浦、横浜、川崎の仲間とともに神奈川労働運動の主流派になろう」。さらに「民営化絶対反対・戦争絶対反対の議員を神奈川の総決起で当選させようと熱烈に訴えた。

日本近代史研究者で国鉄闘争全国運動呼びかけ人の伊藤晃さんは、「いま労働運動を再生させる意味はどこにあるか」と題して講演を行った。「戦後民主主義の根幹である労働運動の骨を抜いたのが国鉄分割・民営化であり、さらに『4・9 政治和解』をもって不当労働行為や解雇はあってはならないという『建前』が完全に空洞化された」。これに対する対抗軸が国鉄闘争全国運動であり、「1047名を助ける同情ではなく、闘争団と同じ思想に立つ運動を全国で作る闘い。どの職場にも労働者の怒りはあふれており、資本の弱みを突いて労働者の力を結集させれば闘いの拠点を作ることにはできる。そのために反合・運転保安闘争から外注化阻止に至る動労千葉の闘いに学ぶこと」であると国鉄闘争全国運動の神髓が鮮明に明らかにされた。

国労闘争団から成田昭雄さん、動労千葉争議団から高石正博さんがアピールに立った。成田さんは『4・9』に対し、自分たちのような存在を2度と出してはならないという思いで闘っている。国鉄分割・民営化に、どこかでけじめをつける運動を俺たちが正面に出てやる」

高石さんは、勝浦市長選挙について「自民党の大票田で真っ向から闘い産廃問題の焦点化に成功した」。「4・9」について「解雇、不当労働行為が何一つ解決していない。どうしても納得できない。このままだと後に何も残らない」全国運動でひっくり返す。支援ではなく、私たちと同じ闘いを各職場でやってほしい。労働組合をよみがえらせよう」

連帯アピールとして弁護士の高山俊吉さんが登壇し、「エジプトは18日間で革命に勝利した。予想もしない早さで、闘う労働者が立ち上がる時が来た」「今や裁判員制度は85%がノーを突きつけ、息も絶え絶えだ。これほど勝利感のある闘いはない。裁判員制度反対の闘いで票は集められる! 選挙に駆けつける」

相模原市会議員で国鉄闘争全国運動・神奈川呼びかけ人の西村あや子さんが発言を受け、三浦半島教労部会、地元相模原から二人の労働者、婦人民主クラブ全国協議会相模原支部、国鉄闘争全国運動・神奈川からの決意表明を受けた後、国鉄運動全国運動・相模原の結成を圧倒的に確認して感動的に幕を閉じた。

国鉄闘争全国運動を闘うことが統一地方選挙闘争勝利の道であり、統一地方選挙闘争のただ中でこそ国鉄闘争全国運動の前進を切り開くことができる! 職場に団結を! 地域に連帯を! 今こそ相模原に闘う労働組合の拠点を作りだそう!

(相模原・N)



写真、上から
伊藤晃さん
成田昭雄さん
高石正博さん
高山俊吉さん